

A large group of U.S. Marines and their Japanese hosts are posed for a group photo in front of a traditional Japanese building. The Marines are dressed in their dress blues, and the Japanese hosts are wearing traditional white kimonos with red obi. The group is arranged in many rows, filling the frame. The background shows a traditional Japanese building with a tiled roof and some trees.

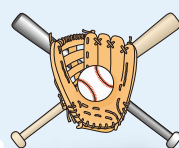
の影響もあるかも知れませんが、私が若連の頃は、舞台を引つ張る2本の綱は若衆が鎗なりで、片手で綱を持つのがやとでした。今は若衆の人数が少なく、これで引つ張れるのかな?と思いますが、皆頑張つて舞台曳行が無事出来ていることを感動、感謝しています。私の長男も2年前にお祭りデビューしました。若連及び世話方のご苦勞を勞待しています。みんな、お祭りに参加しよう。

スージーちゃん スイカワくん

平成27年 1 月 1 日現在

世帯数	5,862戸
人 口	15,654人
男	7,589人
女	8,065人

更なる活躍を!!
波田
リトル・シニアリーグ



波田リトルリーグは昭和56年に創部し、34年間の活動をしています。また波田シニアリーグは5年後に創部し、29年間の活動をしています。

昨年はリトルマイナーチームが、信越マイナー大会兼第

4回サンケイスポーツ旗争奪兼第23回長野県警察本部長杯・新潟県警察本部長杯争奪戦で3位となり、マイナーチームとしては22年ぶりの快挙となり、今年は全国大会出場に夢が持てます。

シニアリーグでは昨年度、春・夏・秋と中南信地区予選を突破して信越大会に出場を果たしましたが、惜しくも全国大会の切符を得ることができず残念でした。

波田シニアリーグのH君は、2014MCSAワールドシリーズ（全米選手権）に日本代表選手としてアメリカ・イリノイ州クリスタレイクで試合をし、決勝戦でアメリカチームに負けてしまいました。

しかし、近年少子化の影響により、野球をする子供が少なくなっています。今年度は梓川リトルリーグが単独チームとして大会出場ができず、波田リトルリーグと組織統合して大会に出場します。またシニアリーグも昨年の選抜大会予選から、大町シニアと合同チームとして参加しました。

伝統ある波田リトル・シニアリーグは、野球を愛する子供たちの夢をかなえるために維持したいものです。

新春雑感愚考

新春早々に、無粋かつ館報に馴染みにくい話で恐縮であるが、元旦の計に乗じて、ナベカマはさておき、生活の根幹に関わる問題について考えたいと思ひペンを執った。

私共は地区内の団地の住民である。隣組を見回すと圧倒的に老人世帯が多く、その殆どが年金生活である。現役時代より遥かに低収入の私共にとつては、昨今の円安による物価高と消費増税はサイフに痛い。更なる値上げ品目も目白押しだ。購入者に負担を強いる物価上昇は、本当に景気回復に資するのだろうか。

ところで、私共の物価と景気に関する見聞・整理について述べる。「景気が回復すれば、会社は増益、賃上げもなされ、消費拡大により物価上昇する」というものである。

これは、私共が経験してきたことであり、合理的事実と識者も言う。従って、まずは効果的な景気戦略こそ先行策定・実施されるべきと考え

じやないの？これらを簡単に確認できないものかと思考を重ねたところ、昔習った高校数学の初歩的論理学「真・逆・裏・対偶」が脳裡に浮かんだ。早速、今実施されている目論見に適用してみると、命題・物価上昇すれば景気回復する

逆・景気回復すれば物価上昇する

裏・物価上昇しないならば景気回復しない

対偶・景気回復しないならば物価上昇しない

ここで、命題が真と仮定すれば対偶も真、逆と裏は偽というのがこの論法である。なお、命題の真偽判定が難しい時は、対偶の吟味で代用できる。この命題の対偶は、景気回復しない中で、物価上昇している実情とは矛盾するので偽、即ち命題も偽とされる。これは「物価上昇すれば景気回復する」とは言えない」とを示す。論法にご指摘あれば賜りたい、が疑念は増した。

だが一方で、与党大勝である。大方は難解不明な経済政策の是非を問われ、未消化のまま、景気回復への期待感から一強に投じたかに見える。この期に及んでは、成長戦略とやらを急ぎ戦術化して実行し、皆にとつて良い結果を出して貰いたい。(A〇生)

注連飾りと三九郎の歌



12月7日、9区公民館において注連飾りの講習会が開かれました。

地区の大先輩5名を講師にお迎えし、15名程の小学生(地区には41名がいます)と親や役員が教えていただきました。



先生の周りに4、5人が集まって開始です。前日に選んで、水で湿らせたわらを数本の束にして、それを2つに分けて、左縄に縫っていきま

す。何年も参加している子はすぐに上手に作っています。初めての子も、先生の熱心な教えに次第に形になっていき、南天と紙垂をつければ完成です。右も左も縄を纏めたことのないこちらは、汗をかきかきやっと1本作る間に、子供たちは3、4本も。お店には、出来合いのお飾りが並んでいる昨今。自分で拵えた注連飾りは、さぞ福を運んでくれることでしょう。伝統行事として、末永く続くことを願っています。



松本市立博物館の三九郎についての資料によると「戦後の一時期まで男子のみが参加し、品のない歌などがうたわれた。しかし、学校教育やPTAが盛んになるにつれて、次第に消えていった。現在でもいくつかの地区でうたわれる歌は、三九郎 三九郎 じいさん ばあさん 孫 おくれ お団子焼きに 来て おくれ などのように、かつてうたわれた歌の歌詞の断片が多いようだ」とあります。波田の中でもまだ、三九郎の歌がうたわれている地区はあるのでしょうか。参考までに、子供の頃聞いた(うたった?)歌詞を記します。メロディーを知りたい方は、9区の男性に聞いてみて下さい。

♪三九郎ヤーイ 三九郎ヤーイ 昨日生まれた亀の子が 父つさの〇〇にかみついて 母さ泣き泣きお医者様 お医者様の薬が効かなくて 猿の尻尾でやと効いた ワンワラワイのワイ♪

今年1月11日にダルマで飾りつけをして燃やします。役目を終えた注連飾りと三九郎が、中下原の夜空を焦がしてくれるはず。(K・N)



「おもしろきこともなき世におもしろくすみなすものは心なりけり」

幕末の志士である高杉晋作の辞世の句である。明治維新の一端を担った長州藩士(山口県、毛利家。負けず嫌いの突貫小僧。三味線、都々逸遊びもお手の物。天下を取った徳川幕府の泰平260年。鎖国体制で世界に遅れ、内事情もままならず。そこへ突如現るペリーさんらの蒸気船。開国迫る欧米か？右往左往の徳川幕府。弱気な幕府に見切りつけ、関ヶ原では負け組なれど、ここが天下の分かれ道。尊皇攘夷を掲げつつ、農民町民募兵しの、奇兵隊なるもの引き連れて、八面六臂の大活躍。(大筋) されど志半ばで病に倒れ、夢見ずして明治維新の前年にこの世を去る。享年27歳。あまりにも早すぎる死である。20代で国家の有り方を熟慮断行する事など、今の時代では考えられない事だろう。時代が違ふと言ってしまうとそれだけで終わりである。ただ先人の残した言葉の中から、何かを見い出せないだろうか？自分分の中にネガティブな何かがあるのなら、冒頭の句を。心と考え方ひとつで人生は変わる。ポジティブでいこう。